

## 登壇者プロフィール

**奥備一彦** 1941年生、広島県出身。2000年シンガー日鋼(株)の精算に従事。2004年宇都宮商工会議所青年部・宇都宮JC等の有志70名で、雷都レールとちぎを立上げ代表就任、以後一貫してLRT推進の市民運動に尽力。2006年第1回人と環境にやさしい交通をめざす全国大会、2014年第7回大会を実施。2017年には「LRTの早期着工を目指す市民大会」3000人集会を企画実施。



**服部重敬** 1954(昭和29)年名古屋市生まれ。NPO法人名古屋レール・アーカイブス理事長、一般財団法人地域公共交通総合研究所研究員。1980年代にまちづくりにおける軌道系交通のあり方に関心を持ち、次世代型路面電車(LRT)の動向を中心に、寄稿などを通じて各方面に情報を発信している。著書に「路面電車新時代-LRTへの軌跡」(編著/山海堂)、「LRT」(共著/成山堂)、「世界のLRT」(共著/JTBパブリッシング)などがある。



**太田恒平** 1983年生まれ、東京大学にて交通、空間情報の研究の後、2009年にナビタイムジャパンに入社。2017年に起業し、交通のデータ分析・コンサルティングを行っている。バス交通情報の標準化(GTFS)・オープンデータ化、バスの遅れを半減させる「DiaBrain」の開発など、バスのサービス改善を中心に取り組み、現在熊本で「車1割削減、渋滞半減、公共交通2倍」を目指した研究PJを実施中。交通×ITがライフワーク。



**何 功(か・ろく)** HELe 1991年生まれ。中国西安市出身、高校卒業まで山口県で過ごす。東京大学教養学部卒業、東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻修了。修士(工学)。現在、一般財団法人計量計画研究所(IFS)研究員として各地で地域公共交通計画の策定支援を手掛ける。



**古池弘隆** とちぎ圏央まちづくり協議会代表理事、雷都レールとちぎ顧問。福岡県生まれ。1964年東京大学工学部卒業、米国ワシントン大学大学院博士課程修了後、ブリティッシュ・コロンビア大学、宇都宮大学等を経て、2006年から現職。国土審議会専門委員、栃木県及び宇都宮市都市計画審議会会長、新交通システム導入基本計画策定調査委員会委員長等を歴任。交通まちづくりを目指して宇都宮ブランドの推進に努めている。主な専門分野は、交通計画、都市・地域計画など。



**本田 豊** 1962年生まれ。神戸大学工学部卒業。建設コンサルタント、兵庫県職員を経て、2018年から富山大学都市デザイン学部教授。兵庫県職員時代に交通政策やLRT整備計画でLRTと関わる。現在、人口減少時代の都市圏において市民生活の質の向上を実現するための総合交通政策、交通まちづくりに携わる。NPO法人RACDA高岡顧問。最近の論文に「富山県内におけるLRTをめぐる交通まちづくり」「交通まちづくりを担う城端線・氷見線沿線市民団体の実践活動」等。



**松原光也** 1969年京都市生まれ。2009年関西大学大学院にて博士号(文学)取得(専門:交通地理学、GIS、観光、まちづくり)。2010年京都大学大学院特定助教。2014年WILLER TRAINS(株)旅客部係長。市民活動を長く続けており、RACDA高岡、ROBA、KOALA、RACDA大阪・堺、金沢・LRTと暮らしを考える会、全国バスマップサミット実行委員会などに所属。著書に『地理情報システムによる公共交通の分析』(多賀出版)、『交通基本法を考える』(かもがわ出版・共著)等。

